

# やすサミ



議会だより

第170号

2022.8



安田さくら園夏祭り

## 令和4年6月定例会

町長行政報告 .....	2
一般質問 1氏が問う .....	6
専決処分の承認 2件 .....	7
条例改正 .....	7
令和4年度補正予算ほか .....	7

6月15日開会。専決処分の承認、条例改正、令和4年度補正予算等、4議案を審議、一般質問を行い、17日に閉会した。

### 行政報告(概要)



黒岩町長

### 新型コロナウイルス感染症への対応

本町のワクチン接種状況は、3回目の追加接種は、5月末現在72.6%。4回目接種は、8月予定で3回目終了後、5カ月が経過した60歳以上と、



コロナワクチン接種会場(文化センター)

18歳から59歳のうち基礎疾患等を持つ方に順次接種券を発送する。

5歳から11歳の接種は、3月末から個別接種を開始、中芸管内の対象者486人のうち現在60人が2回目の接種を終了。

地域商品券配布事業は、町内限定の「がんばるやすだ応援券」を1人当たり1万円分配布。6月までに

約43%が使用し、早期の経済効果につながっている。コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分として地方創生臨時交付金が新たに創設、本町にも2726万7千円が追加配分され、交付金を活用した経済支援について、早急に対応を図っていく。

### 国・県営事業の進捗状況

主要地方道安田東洋線の整備状況は、明神口トンネルの開通後、本年度は老朽化している明神口橋の架け替え工事に着手。改良工事中の和田・焼山工区の早期完成及び落石や崩壊危険箇所への防災対策の取り組みについて、期成同盟会を中心に県に働きかけをしていく。

急傾斜地崩壊対策事業は、間下・内京坊・西島地区での事業継続。砂防事業は、庁舎背後地の下町谷川で堤工事に着手など、より一層

災害に強いまちづくりを推進する。

森林管理道中芸北上線は、現在、繰越事業の進捗を図っており、本年度についても早期開通に向けた予算増額など、スピード感をもって対応を図っていく。

### 町営事業の推進状況



町道上ミ本町2号線

世帯等臨時特別支援事業など12件は、既に3事業が完了、残る事業も計画どおり完成するよう、事前対応を進める。

#### ◆繰越事業◆

空き家対策総合支援事業、社会資本整備総合交付金事業(町道上ミ本町2号線外道路改良工事外)や子育て

#### ◆ふるさと納税◆

令和3年度は、4959件、5507万7千円で、件数で39%減、金額36.9%

減となり、前年度を下回った。本年度も前年同期を下回っているが、寄附への返礼品を通じ、安田町のファンづくりと、本町の豊かな自然が育む特産品の外商など、生産者等の所得向上と地域の活性化を目指し、町の魅力を全国に発信する。

◆新庁舎建設◆

工損事後調査は、工事の影響を否定できない破損等箇所の補償が全て終了し、平成28年からの新庁舎建設事業はすべて完了した。

◆地域公共交通◆

「やすら号」の4月から5月までの運行状況は、路線定期運行は、東谷線が32便125人、東島線が36便158人の利用。

一方、デマンド運行は、一部で利用が低く地域への運行周知や利用環境の改善に向けた聞き取り調査を行い、利用者増につなげたい。

◆移住・定住促進対策◆

空き家改修の支援事業等を継続実施ほか、空き家の中間保有事業は、繰越明許による改修工事が完成し、昨年末に完成している空き家住宅とあわせ、6月中に入居者の公募を行う。

また、安田駐在所北側の移住促進住宅は、単身者向け居室1室が空室で、申し込みがあり次第、入居の適否を判断する。

◆農林水産業振興対策等◆

新型コロナウイルスやウクライナ情勢等の影響により原油価格高騰など、産業全般に影響があり、中でも加温用重油等の値上がりは施設園芸に大きな影響がある。県が展開する施策を積極的に取り入れ、農家の所得向上と担い手確保対策を重点的に取り組む。

所得向上対策として、安芸農業振興センター管内で「日本一のナス産地の維持・拡大」として、IOPクラウドを活用した栽培の実証

が進められ、蓄積されたビッグデータを基に栽培技術の確立による安定的な品質・収量の確保を支援するとともに、環境制御技術普及等を活用し、農業所得の向上に取り組む。

担い手対策は、町内1人が4月から研修を開始、昨年度からの研修生1人が新規就農者として町営サポーターハウスで経営を開始。

振興作物栽培強化施設は、マンゴーの剪定・肥培管理等により、当初の計画以上の収穫が見込まれる。今後、収量が安定すれば、指定管理者と連携し、特産品として商品開発やふるさと納税の返礼品としてPRを行う。

中山間地域の振興作物、自然薯・花卉・ユズ栽培は、苗木購入補助を継続。ユズの病害虫防除支援は、環境保全型農業推進事業を引き続き実施。

また、独自の遊休農地解消の取り組みは、農業委員会「耕作放棄地解消事業実施要領」を制定し、今後

においても町・農家・関係機関と連携して取り組む。林業振興は、森林環境譲与税が導入4年目を迎え、本町も森林の状況を把握し、今後の適正管理及び木材利用の推進のため、森林経営管理システムの導入を進め、

本年度は安田地区を整備し、昨年度に整備した中山地区で森林所有者への意向調査を実施する。

全計画の策定を行う。また、近年の豪雨で被害が増加している、ため池の対策として、使用していない2カ所について適正な廃止に向け対応。

社会資本整備総合交付金の活用により、昨年度から

農業の基盤整備は、本年度から国の耕作条件改善事業を活用し、用排水路等を年次的に改修。老朽化が著しい下島頭首工の改修に向けた機能保

備事業◆

社会基盤整備事業

社会資本整備総合交付金の活用により、昨年度から

社会資本整備総合交付金の活用により、昨年度から



下島頭首工



◆国民健康保険事業◆

県内の動向は「第2期高知県国民健康保険運営方針」に基づき、保険料水準の統一に向けて理念や必要性について理解を深め、どのレベルまでの統一を目指すか議論を行っている。8月ごろをめどに県と市町村とで水準統一の方向性について合意形成を図る。

保険料水準統一の際に被保険者の急激な負担増とならないよう、本年度に税率の改正を行い賦課方式についても変更するなど、目指すべき将来の姿を見据え国保会計の健全な財政運営に取り組んでいく。

また、医療費適正化について、特定健康診査の受診率向上対策や健康意識向上のための運動教室などの取り組みを強化推進し医療費の抑制につなげる。

教育行政の状況

◆学校教育◆

本年度、安田さくら園65人、安田小学校89人、安田中学校34人でスタート。

4月実施の全国学力・学習状況調査は、小学6年生は国語・算数・理科、中学3年生は国語・数学・理科を実施した。7月下旬に最終結果発表予定だが、各校が自校採点による分析を行っており、今後の授業改善に生かしていく。

特別支援教育の推進は、支援を要する児童生徒の支援方法等について理解を深めるため外部講師を招へいし、具体的なアドバイスも得ながら研修を行っている。本年度は、安田さくら園も含め、適切な支援ができるよう取り組む。

昨年度設置の学校運営協議会は、5月26日に開催し、各学校・園の本年度学校運営の基本方針について承認いただき、経営目標やビジョ

ンの共有を行った。今後も学校運営に対する理解や協力を求め、学校評価制度も活用し、地域とともにある学校づくりを行う。

安全・安心な学校づくりの一環として、コロナ禍での熱中症対策として、地方創生臨時交付金を活用し、安田小中学校体育館及び安

田さくら園遊戯室に冷風機を導入する。

新型コロナウイルス感染症により、本年度も授業や学校行事などの一部に規模縮小や予定変更、中止を余儀なくされ、4月の安田中1年生の室戸自然体験宿泊訓練は中止、3年生の修学旅行は県内幡多方面1泊2



安田さくら園夏祭り

日に縮小・変更して実施。また、5月の安田小学校運動会は、観覧者数の制限を行い、感染予防対策をとり実施した。

今後も感染症の影響は予想されるが、充実した教育活動の実施に向け対策を講じる。

◆社会教育◆

各種文化、スポーツ教室、出前講座、安田まちなみ交流館の開館など、コロナ禍でも開催可能な方法を創意工夫し、企画展「アンビリーバボーアンタロー」では、安田朗ファンが県内外から訪れ、関連企画「あんたろうカフェ&パーパーバッグ作り」では、募集人員上限に達する参加があった。

町制施行100周年記念の一環事業で『新安田文化史』の続編、町史編さん事業は、文化センター2階の旧図書室に町史編さん室を開設、作業を本格化させている。

# 一般質問

**Q** 阿南安芸自動車道の事業化に伴う産業振興策は総合的な振興対策を図るため将来構想に邁進する



中島議員

**問** 阿南安芸自動車道の「奈半利～安芸間」のうち、本町を通過する「安田～安芸間」の新規事業化が発表された。この整備効果は、地域経済の活性化や南海地震対策など国道55号一本に頼らざるを得ない東部地域にとってはまさに「命の道」としての役割が期待される。そうした中、本町の基幹産業である農業は、高齢化と後継者不足により耕作放棄地が増加傾向にあり、遊休農地対策や担い手対策の

取り組みについて幾度か一般質問をしてきた。

自動車道の事業計画では、東島地区へのインターチェンジの設置が予定されており、農地の再開発の大きなチャンスだと考える。現状の農地は不整形で経営効率も悪い。基盤整備を行うことで、農地の規模拡大や遊休農地の解消も図られ、ハウス経営や水稲栽培等の所得向上と担い手対策の解消につながる、農家が元気になることで、町全体へ波及効果も期待できると考えるが、現時点において、町長の思い描く安田町のビジョン、その推進に向けた対応策について聞く。



黒岩町長

**答** 就任当時から阿南安芸自動車道が事業化になれば、どのような「まちづくり」を行うかを考えてきた。その取り組みとして、これまでに示されたルート帯案を含めた周辺地域のインフラ整備や農業振興には欠かせない農地の基盤整備等への振興対策を効果的に行うことであると考へ「安田町の一体的かつ効果的な将来構想」(案)を令和3年3月に関係機関を招いて、私自身がプレゼンテーションを行い、町の将来構想の一端を示している。

また、この構想の実現は不透明であったが、阿南安芸自動車道の新規事業化が思った以上に早く決定されたことで、目の前までできており、今後は総合的な振興対策を図るための将来構想の実現に向け

て邁進していく考えである。

町の活性化のためには、観光対策や雇用の確保など幅広い分野での構想を考えなければならず、特に本町は農業立町であることから、ご質問の農地基盤整備は手段であり目的ではなく、この基盤整備を農業振興対策へどう結びつけていくかが重要であるため、現在、県の安芸農業振興センター等の協力も得ながら方向性を考えている。

いずれにしても、この構想を実現していくためには、地域の皆さんのご理解、ご支援、ご協力なくしてはできないものではなく、時機を見定めながら着実に取り組んで行くと同時に将来の町の姿を考えるとき、膝をつき合わせ将来を語ることでできる若い世代を中心とした協議会等を組織することが必要であ

り、こうした取り組みを行っていききたい。

前述述べたように、地域高規格道路の整備による地域への波及効果は十分に期待できるものであり、地域経済の発展や観光振興、自然災害に対する防災対策など「命の道」であることから、地域の皆さんの安心・安全な暮らしの確保につながっていく計画をしていきたいと考えている。



「安田～安芸間」事業化に伴うルート説明会

# 専決処分

# 条例改正

# 補正予算

◆安田町税条例の一部改正

◆安田町国民健康保険税条例の一部改正

## 内容

地方税法等の一部を改正する法律等が、令和4年3月31日付で公布、4月1日から施行されたことに伴い、3月31日付で町税条例及び町国民健康保険税条例を改正する措置について、専決処分したもの。

## 町税条例

○固定資産税の住宅リフォームに係る特例措置の延長や商業地等に係る課税の特例措置の適用等

## 町国保条例

○税負担の適正化を図るため、課税限度額の引き上げ

審議結果…2件とも全員賛成

(承認)

◆安田町国民健康保険税条例の一部改正

例の一部改正

## 内容

新型コロナウイルス感染症の影響により一定額の収入が減少した世帯に対し、令和2年度から措置している、国民健康保険税の減額または免除を令和4年度も引き続き行うため、条例の一部改正を行うもの。

## 質疑

問 国保税の普通徴収分の最終納期は2月末で、減免の申請は納期までとなるはずだが、今回改正の条例では、申請期限が3月末になっているのはなぜか。

答 2月中に国保の資格を取得した者は、国保税の納期が3月末となる。これに対応するため申請期限を3月末までとしている。

審議結果…全員賛成(可決)

◆令和4年度町一般会計補正予算(第1号)

正予算(第1号)

## 内容

当面、その執行に緊急を要するが生じた事項について追加の措置を講じるもの。

補正の主な内容は

○住民税非課税世帯等臨時特別給付金の追加 1000万円

○令和3年度、住民税非課税世帯等臨時特別給付金返還金の追加 318万円

○子育て世帯生活支援特別給付金の追加 280万円

○農道午王河原線整備費の追加 300万円

○中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会負担金の追加 181万円

○県営急傾斜地崩壊対策事

業負担金の追加

205万円  
など

総額2670万円追加

補正後の予算総額

31億5270万円

## 質疑

問 臨時特別給付金の返還金の説明と給付金対象者には適切な周知を。

答 返還金については、3年度事業分を年度末で精算しなければならぬので、余ったものを返還するものである。また、繰り越しの給付対象者については6月末までが申請期限となっているので、再度通知するなどこの対応を図っていく。

問 子育て世帯生活支援特別給付金の対象者について説明を求めます。

答 今回対象となるのは、住民税非課税世帯で、児童手当の支給対象者及び高校生未満の子どもの子どもとなる。

1人5万円で56人が対象となっている。

審議結果…全員賛成(可決)

# 繰越報告

◆令和3年度町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

◆令和3年度町簡水事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告

## 内容

令和4年度に繰り越して執行する事業と繰越額の報告。

◎一般会計

令和4年度への繰越総額 1億2224万円

主な事業は、

○空き家改修工事外 1146万円

○子育て世帯等臨時特別支援事業・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業 23022万円

○町道上ミ本町2号線外道



改修された空き家(船倉)

路改良工事

5056万円

○安田小学校バリアフリー  
改修工事外

750万円

◎簡水事業特別会計

○安田簡易水道施設整備事業

3283万円

繰越明許費とは  
歳出予算の経費のうち、  
予算編成後の事由等により  
当該年度内に支出を終わら  
ない見込みがあるものにつ  
いて、予算の定めるところ  
により翌年度に限り、繰り  
越して使用できる経費。

賛否表(令和4年6月定例会)

○:賛成 ●:反対 欠:欠席 ー:議長

議案名	内川 一則	中島 瑞夫	小松 延茂	豊永土佐太郎	佐竹 正利	黒岩 円	田之上 健太	太田 賢三	上総 博	小松 憲次	可 否
専決処分の承認 (安田町税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	ー	承認
専決処分の承認 (安田町国民健康保険税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	ー	承認
安田町国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	ー	可決
令和4年度町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	ー	可決

# 議会を傍聴してみませんか

議会は公開が原則です

皆さんお気軽においでください

\* 次回の定例会は、9月中旬にひらかれます。

議会のつぎ

4月

- 13日 議会広報編集委員会
- 18日 議会広報編集委員会
- 24日 奈半利川水系直轄特定緊急砂防事業完成式・祝賀会  
(北川村ほか)

5月

- 16日 道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会通常総会  
(高知市)
- 道路整備促進高知県大会  
(高知市)
- 19日 安芸郡町村議会議長会定期総会  
(馬路村)
- 24日 総務教育常任委員会
- 25日 産業厚生常任委員会
- 27日 一般国道55号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会  
(田野町)
- 高知東部自動車道整備促進期成同盟会総会  
(田野町)

6月

- 国道493号整備促進期成同盟会役員会・総会  
(田野町)
- 1日 安田町交通安全町民会議議会  
会
- 8日 議員協議会
- 10日 議会運営委員会
- 12日 町内環境美化行動
- 17日 議会広報編集委員会
- 27日 第2回中芸広域連合議定会  
例会

編集後記

我が家に「Final issue」と印刷された切手がある。

「切手趣味週間 嘉瓶(ユシビン) 1972 RYUKYUS 琉球郵便」の文字、図柄は当然だが嘉瓶(ユシビン)で額面は5セントだ。

昭和45年ごろから、先輩に連れられて切手の販売店に行った。目的は琉球切手の購入。しかし、金がないので気に入った物を1枚か2枚だけ買っていた。「琉球切手は世界で一番きれいな切手。」とよく聞かされた。

昭和47年の夏「世界で最初の「Final issue」の切手が出た、琉球切手のユシビンや、買いに行こう。」で、私も1枚買ったが、5月15日に沖縄は返還されており、切手の効力も停止されていた。

あの夏から50年たった。私は前期高齢者になり、切手販売店があった一帯はひろめ市場となった。だが、沖縄の米軍基地をはじめとする諸問題には、根本的な変化がないように思われる。

(編集委員 豊永)



議会広報発行人

議長 小松 憲次

議会広報編集委員会

- 委員長 田之上 健太
- 副委員長 内川 一則
- 委員 豊永 士佐太郎
- 委員 黒岩 円
- 委員 中島 瑞夫

### 各 常 任 委 員 会 の 所 管 事 項 調 査

総務教育・産業厚生 の 各 常 任 委 員 会 は、こ の ほ ど 所 管 事 項 調 査 を 行 い、そ の 結 果 を 次 の と お り 議 長 に 報 告 し た。

#### 総務教育常任委員会

開催日 令和4年5月24日

#### 調査事項

① 令和4年度総務課・地域創生課・教育委員会 の 主 要 事 業 の 執 行 計 画 に つ い て

#### ② その他

#### 経過

総務課、地域創生課、教育委員会から資料に基づき説明を受け、協議の結果、次のとおりまとめを行った。

#### 調査結果

◎ 旧安田消防屯所の跡地について、管轄の中芸広域連合消防本部と協議の上、有効な活用策を検討すること。

◎ 移住促進対策は、町の最重要課題の人口対策に有効的な取り組みである。空家活



総務教育常任委員会

用促進事業は今後も重点的な取り組みを望む。

◎ 地方分権改革や行財政改革など職員 の 日 常 業 務 の 負 荷 が 多 く な る 傾 向 に あ る。職員の心身の健

#### 産業厚生常任委員会

開催日 令和4年5月25日

#### 調査事項

① 令和4年度経済建設課・町民生活課の主要事業の執行計画について

#### ② その他

#### 経過

経済建設課、町民生活課から資料に基づき説明を受け、協議の結果、次のとおりまとめを行った。

#### 調査結果

◎ 指定管理者制度で実施している新興作物栽培強化施設のマンゴー栽培について、町の施策目標に沿った成果が上がるよう、指導管理に努めること。

康管理などの体制を整え安定した行政運営に努めていただきたい。

◎ 残土処理場の管理について、土砂の崩壊や下流域へ流出防止対策を万全に行い、引き続き適正な安全管理を図ること。



振興作物栽培強化施設